

朝日新聞

「パワースポットで元気に」 子どもの居場所、石川・輪島で再始動

有料記事

上野創 2024年4月6日 8時00分



新しいソファの組み立てをする小浦詩さん（右端）と高校生たち=2024年4月2日、石川県輪島市の「わじまティーンラボ」、上野創撮影 



能登半島地震で被害を受けた石川県輪島市で、子どもたちが自由に過ごせる「居場所」が修復を終えて3月に再開し、にぎわっている。家々が倒壊し、多くの被災者が避難生活続ける街で、子どもたちが安心して遊んだり、しゃべったりできる空間になっている。

4月3日午後3時すぎ、ビル2階の「わじまティーンラボ」には小学生から高校生まで13人がいた。テーブルでは小学生の男の子たちがゲーム機で遊び、ソファでは女の子たちがスマホのカメラで撮り合っている。

机で数学の宿題をしていたのは、高校2年の伊藤暉人（あきと）さん（17）。自宅は断水中のため父親の菓子店の2階で寝泊まりする。地震が起きた元日は金沢市にいて、そのまま母親の実家に身を寄せた。3月に輪島市に戻ると、町は一変していた。「よく遊びに行った友人宅が焼けたりして町の風景がすごく変わってしまった。寂しい」

それでもラボに行けば友達と会えて、地震前から知る事務局長の小浦明生さん（41）が迎えてくれる。伊藤さんは「ラボの雰囲気が変わっていないのは救いです」と言う。

一緒にいた友人（16）は自宅周辺が損壊し、避難所で暮らす。今年はバドミントン部でがんばるつもりだったが、体育館が損傷し使えない。「輪島を離れる友達もいて、苦しいことが多い」。ラボの音楽室でドラムをたたくと気分が少し変わるという。

ラボは市所有のビルにあり、NPO法人「じっくらあと」が日本財団の支援を受けて運営する。2年前、理事長で小児科医の小浦詩（うた）さん（42）らが「中高生が立ち寄って明

日へのちょっとした希望を持てる場」として開いた。夫の弟、明生さんが県外から戻り、事務局長に就いた。

より楽しめる施設を目指して大規模改修し、昨年12月に再出発した8日後に地震が起きた。ビルの入り口のガラスや外壁が破損し、しばらく休止。再開できたのは3月26日だった。来館者は当初10人ほどだったが、徐々に増えている。

地震の影響で、子どもたちの日常は揺さぶられている。家族が離れて暮らしたり、家に住めなくなったり。遊ぶ場所が減り、大声を出して体を動かすのも難しいのが現実だ。

ラボは町を離れた子が一時的に戻れる場所でもある。運動室でバランスボールを使ってPK合戦をしていた小学5年の男の子は、避難先の小松市のホテルから戻って遊びに来たが、家族で金沢市へ移ることが決まっている。「今日は友達と思い切りボールを蹴ったのが楽しかった。またここに来たい」と話していた。

詩さんは、地震後のラボを「子どもたちのパワースポット」と呼ぶ。「ラボの外は大変な状況が続くけれど、ここでは子どもたちが元気を満たせる。地域の大人たちにもっと関わってもらい、大人が子どもから元気を分けてもらうような場所にしていきたい」と話した。

支えたNPO「徐々に地元団体に」

能登半島地震の後、奥能登の各地で子どもの居場所や遊び場の開設を支えたのが、認定NPO法人「カタリバ」（東京）だ。

大災害の後、大人たちは対応に追われ、学校も休みとなり、動揺する子どもたちにじっくり向き合える人が減る。カタリバには、すぐ被災地に入ってニーズの把握や居場所づくりなどを支援するチームがあり、今回も発生直後から動いてきた。

1月4日に石川県七尾市の避難所で開設を支援したのが始まり。その後も、避難所となった珠洲市と輪島市の高校の教室や、2次避難先となった金沢市の宿泊施設の部屋などを借り、計12カ所の運営に関わった。

カタリバは被災直後の緊急対応を役割としており、今後の運営は地元の団体や行政にほぼ委ねる方針だ。学校で授業が再開されるなどしたこともあり、一部は既に終了。4月8日以降は3カ所のみとなる。

カタリバの担当者、石井丈士さんは「子どもの居場所は地元の団体が担い、保護者や地域の人と協力して続けていくのが良いと考えている。民間団体や学童保育が動き出し、新学期

も始まるので、私たちは教育分野など別の関わり方で支援を続けたい」と話す。

森田明美・東洋大学名誉教授（児童福祉）の話

子どもにとって、災害後の特殊な環境から少し離れ、日常に戻れる空間はとても大切。思い切り体を動かしたり、誰かに話を聴いてもらったりしづらい状況なので、民間団体などによる「子どもの居場所」の役割は大きい。今回の地震のように子どもが点在する場合は、運営側が学校や住宅地の近くに出向き、安心できる時間と空間を提供する試みもあればさらに良いと思う。

この記事を書いた人



上野 創

横浜総局

+ フォロー

専門・関心分野

教育、不登校、病児教育、がん、神奈川県、横浜市



能登半島地震 →

2024年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登地方を震源とする強い地震があり、石川県志賀町で震度7を観測しました。地震をめぐる最新ニュースや、地震への備えなどの情報をお届けします。[もっと見る]

朝日新聞のデジタル版に掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.